

長期的な視点で成長が見込める企業に投資 年率2ケタのパフォーマンスを実現

コムジェスト・アセットマネジメント

不安定な投資環境が続くいま、本質的な企業の活動をチェックすることが、より必要になってきている。環境・社会・企業統治などの視点から、安定的・持続的な運用をする「ESG投資」について、高橋庸介氏に聞いた。



コムジェスト・アセットマネジメント
代表取締役
高橋 庸介氏

株式市場の適正化には ESG投資がキーに

成長が見込める企業に対して、投資家が資金を提供し、その企業の活動を支えることが健全な株式市場の姿だ。そのため株価は自ずと企業価値に見合った適正な価格になっていき、企業のさらなる持続的な成長につながっていく。

ところが、直近の株式市場の動きは、本来の株式市場の姿からかけ離れているように映る。2018年10月から12月末にかけての日

本の株式市場は20%以上も下落したが、「3カ月の間に企業価値が20%超も劣化したとは考えられない」とコムジェスト・アセットマネジメントの高橋庸介氏は指摘する。

短期的には投資家の感情やヘッジファンドの思惑などにより、企業価値と株価が大きく離れることはあるが、数カ月にも渡るとなると話は別だ。企業価値と株価のズレが大き過ぎるのだ。成長期待の高い企業に資金を投じ、その見返りにリターンを得る適正な株式市場にするにはどうすればいいのか。高橋氏は「ESG投資」をキーとして挙げる。

ESGとは、環境（Environment）、社会（Society）、企業統治（Governance）の3つの頭文字

を合わせた言葉で、環境問題への取り組み、労働環境や人権問題への対応、統治形態や取締役の構成といった企業活動によって企業価値を測る投資手法だ。

これまでの企業評価は、売上や利益などの財務情報を重視していたが、環境やガバナンスといった情報を加えることで、より長期的な視点で企業の成長性を判断することができる。

「ESG課題を投資の意思決定に組み込み、長期的な投資収益の向上を目的とした責任投資原則（PRI）を国連が打ち出したのも、企業の持続的な成長が世界経済の発展だけでなく、安全保障にも寄与するからです。企業の成長性やガバナンスなどを見て、投資家が安心して株式投資できるよ

うになれば、あるべき株式市場の姿に近づいていくでしょう」と高橋氏は期待する。

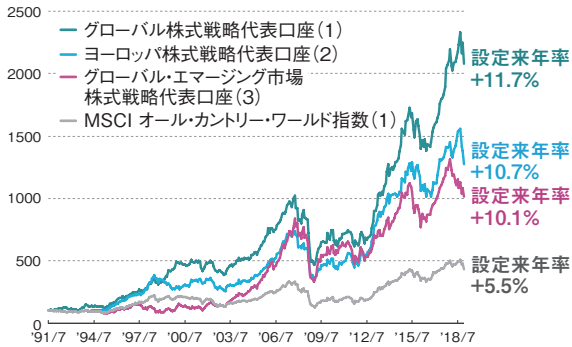
クオリティグロス企業を ESGを使って発掘

2006年に国連がPR

I宣言をするのは前よりESGに着目してきたのが、世界有数の独立系運用会社のコムジェストだ。1985年の創業以来、ESGの要素を取り入れた運用を行ってきた。

運用会社に求められてい

コムジェスト・主要3戦略パフォーマンス



出所:Factset/Comgest S.A./2018年12月31日現在/円ベース/※設定年率グロス・パフォーマンス/設定日:(1)1991/06/30,(2)1993/12/31,(3)1994/12/31
運用実績に使用されているパフォーマンスは、コムジェストによって設定より運用管理されている代表口座の費用控除後のグロス・パフォーマンスです。設定日を100として指数化しています。パフォーマンスからは、運用報酬やパフォーマンスフィー(適用されている場合)が控除されていません。その他費用については投資一任と集団投資スキームでは違いがあることがあります。パフォーマンスは、報酬、その他費用が控除される前であることから、そのパフォーマンスは実際のプロダクトより良くなり得ます。指数は、パフォーマンスの評価の目安としてのみ利用しています。指数のボラティリティは、戦略と大きく異なる場合があります。指数は各戦略下記の通り配当再投資指数に変更しています。MSCI AC ワールド 2005年1月1日〜、2000年以前は該当するFRFの為替レートを使って集計。資料に用いられた運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。ご負担頂く費用等当社の投資運用サービスをご利用になる場合、有価証券等の保管に係る費用、売買委託手数料等をお客様にご負担いただくことがあります。これらの費用については、投資運用において実施される投資戦略等により異なりますので、各費用の上限額又は計算方法等を表示することが出来ません。リスク情報:お客様の利益に与える金融商品取引行為については、株式、新株予約権付社債、公社債等に投資しますので、国内外の経済・政治情勢、金利変動、発行体の業績や財務状況の変化等の影響により、投資する株式、通貨等の価格が下落し、損失が生ずるおそれがあります。

るのはパフォーマンスになる。しかも、コムジェストの場合は短期的ではなく、長期的なパフォーマンスが期待されている。

だからこそコムジェストは、基本的に年10%以上の利益を5年以上に渡り継続している企業を投資対象にする。

この質の高い成長を継続する「クオリティグロス企業」を発掘するため、同社は成長性などに優れた企業を抽出し、ガバナンス、企業文化、環境問題への取り組み等を調査分析、さらに専任アナリストらによるエンゲージメント(企業との対話)を通じて投資対象を厳選する。

このようなプロセスで絞り込まれたクオリティグロス企業に投資することで、コ

ムジェストが運用する主要3戦略は設定来で年率2ケタのパフォーマンスを実現している。世界株式の代表的な指数であるMSCI Worldは約5・45%なので、パフォーマンスは実に2倍になる(2018年12月末現在・円ベース・運用報酬等の費用控除前)。

大半の投資家は半年や1年で10%も上がると売ってしまうが、「我々は年率2ケタ以上の利益成長が望める限りは投資し続けます。投資に裏技はありません。投資の神様であるウォーレン・バフェットも言っています。が、いい銘柄に、いいタイミングで投資し、持ち続けるのが我々の投資の極意になります」と高橋氏は語った。